

感染性胃腸炎に気をつけよう!

感染性胃腸炎は、ウイルスなどが原因となって発症する胃腸炎のことです。

主な原因となるものは、ノロウイルスやロタウイルスです。

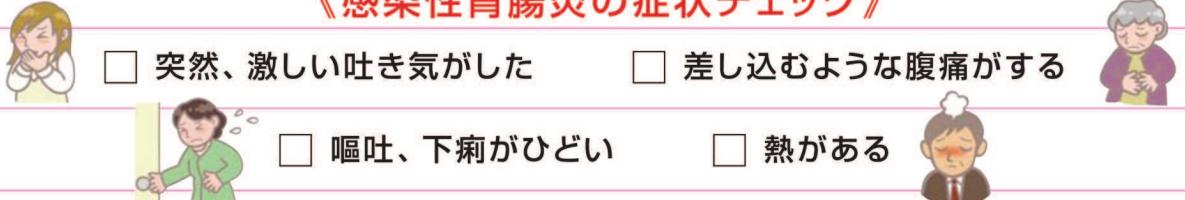
食品などに付着したウイルスが口に入り、腸内で増殖し、感染者の嘔吐物や糞便などから周囲に感染します。

11月から3月にかけてかかりやすい感染症といわれています。

下痢や嘔吐による脱水症状で、乳幼児や高齢者などは重症化しやすいため、特に注意が必要です。

自分や家族の体調が悪いなと感じたら、以下の項目に当てはまるかセルフチェックしてみましょう。

《感染性胃腸炎の症状チェック》



予防するためには

- ① 帰宅時や食事の前、トイレの後に、石鹼でよく手を洗いましょう。
- ② 感染した人の便や嘔吐物には、直接触れないようにしましょう（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処分しましょう）。
- ③ 調理をする場合は、よく加熱（85℃、1分間以上）しましょう。

◆◆◆医療公開講座のお知らせ◆◆◆

当院では毎月1回『医療公開講座』を開催しています。

病気、お薬、食事、運動、医療費など、様々な内容で少しでも皆さまのお役に立ちたいという思いから情報発信しています。

今後も下記の日程・内容で講座を行いますので、皆さまふるってご参加ください。

日付	内 容	講 師
平成26年 11月19日(水)	ピロリ菌と胃ガン予防	消化器科 部長 田所 洋行 医師
平成26年 12月11日(木)	心臓リハビリテーションについて ～元気に長生きするために～	リハビリテーション科 伊澤 克也
平成27年 1月13日(火)	心臓病のリハビリってどんなもの?	循環器科 松井 朗裕 医師

参加の申し込みは、
当院正面玄関入って左手の
地域医療連携室へお声掛けくださいか、
こちらの番号へお問い合わせください。

春日部中央総合病院
地域医療連携室
TEL.048-736-1303
(直通電話)



編集後記

秋から冬に向けて、乾燥が気になる季節になりました。この時期は、風邪や感染症も増えてきます。手洗い・うがいなどの基本的な予防対策を習慣づけ、健康な毎日を過ごしましょう。

日増しに肌寒くなりますので、体調を崩さぬよう、お気をつけてお過ごしください。

地域医療連携室

IMSグループ 医療法人財団 明理会

春日部中央総合病院

T344-0063 埼玉県春日部市緑町5丁目9番4号
TEL.048-736-1221 FAX.048-738-1559
<http://www.kasukabechuo.com>

認定施設 厚生労働省臨床研修指定病院／日本医療機能評価機構認定病院／日本内科学会認定医制度教育関連施設／日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設／日本消化器病学会専門医制度関連施設／日本循環器学会認定循環器専門医研修施設／日本心血管インターベンション治療学会研修施設／日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設／腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設／胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設／日本外科学会外科専門医制度修練施設／日本消化器外科学会専門医制度修練施設／日本整形外科学会専門医研修施設／日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設／日本泌尿器科学会認定専門医教育施設／日本透析医学会専門医制度教育関連施設／日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設／日本麻酔科学会麻酔科認定病院／看護大学・専門学校実習病院

病院理念

愛し愛される病院

基本方針

- 求められる医療の実践
24時間、より早く安心安全な診療
- 地域連携推進
地域に密着した医療の提供
- 医療人としての質の向上
医療人の自覚と技術向上への教育

WITH A WILL

IMS ワズアウィル

心をこめて

春日部中央総合病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報を伝えするコミュニケーションペーパーです。

医師ごあいさつ

循環器科



今春4月より循環器科へ赴任しました松井朗裕と申します。

医師として14年間、京都で診療に従事しておりましたが、今回縁あってこちらでお世話になることになりました。これまでカテーテル治療をはじめとした循環器救急医療のほか、二次予防の観点からの心大血管リハビリテーション、また心血管再生医療にも携わってきましたので、その経験を生かしつつ、埼玉県東部地域の循環器医療をより良いものにしたいと考えております。微力ながらも懸命に頑張って参りますので、宜しくお願い致します。



松井 朗裕

医学博士／認定内科医／循環器学会専門医／日本インターベンション治療学会認定医／心臓リハビリテーション指導士

平成26年4月より赴任いたしました小林洋明と申します。

もともと心血管および下肢閉塞性動脈硬化症を中心とした末梢動脈疾患に対するカテーテル治療に興味があり、当院でも積極的に診療にあたらせて頂いております。そのほか心不全や不整脈疾患の治療など、幅広く皆様の健康に貢献できればと思っております。よろしくお願いいたします。



小林 洋明



原口 信輔

平成26年4月より春日部中央総合病院に赴任しました原口信輔と申します。

埼玉県上尾市の出身で、カテーテル治療を専門に上尾市の病院で働いておりました。春日部中央総合病院は末梢血管治療をはじめとし、国内でも非常に高い水準の治療をしており、その水準に追いつき、患者様のお役に立つように頑張りたいと思います。



玉井 宏一

心臓血管外科

平成26年5月より春日部中央総合病院に赴任しました玉井宏一と申します。

私は自治医科大学付属さいたま医療センター・心臓血管外科医局に所属しており、心臓外科・血管外科領域の診療を行っております。春日部を中心とした患者の皆様のニーズに応えられるよう日々精進して参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

外科

平成26年1月より春日部中央総合病院に赴任しました石山守と申します。私は平成16年に東京慈恵会医科大学を卒業し、これまで消化器、一般外科、特に下部消化管を専門に診療を行ってきました。専門に関わらず地域医療に貢献できるよう、あらゆる外科疾患の診療に取り組んでいきたいと思います。皆様には不慣れでご迷惑をおかけする事があるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。



石山 守



伏見 淳

マンモグラフィ読影認定医

CS委員会について

CS委員会は、Customer Satisfaction(顧客満足)の略で、当院に関わる方(患者さま、ご家族、各医療機関、業者など)へのサービスを促進することを目的とし、問題点を抽出・改善策の検討・実行計画の立案実施(周知)を行います。活動内容としては、院内各所に「意見箱」を設置し、集計・改善や年1回「患者様満足度アンケート」を実施、問題点の見直し、改善策の成果の確認など、CS委員を中心に各部署身だしなみチェックや、新人対象の接遇応対の研修会を開催しています。今後も、委員全体一丸となりCustomer Satisfactionの向上に努めたいと思います。

昨年に引き続き、「患者様満足度アンケート」を実施しました。回答いただいた結果を一部抜粋の上、報告させていただきます。

期間: 平成26年6月16日~6月28日(2週間)

回答数: 707枚(外来567枚、入院140枚)

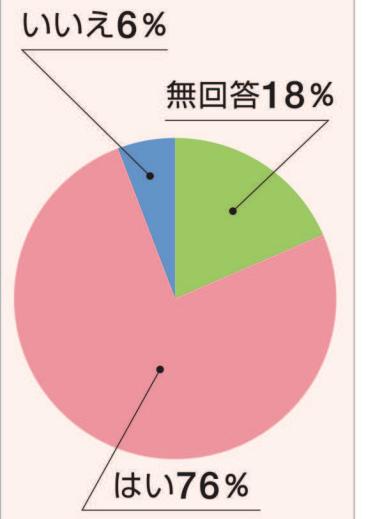
職員は笑顔であいさつしているか



職員の言葉使いや態度はどうか



今後も当院にかかりたいか



※今回のアンケート集計結果は1階B棟とC棟を繋ぐ連絡通路に掲示してあります。

くまとめ> 多数のご意見をいただき、誠にありがとうございました。患者さまからいただいたお褒めの言葉、お叱りの言葉を真摯に受け止め、今後は、受診をした皆さまに「今後もかかりたい病院」と思ってもらえるような病院を目指し精進していきます。アンケートは上記期間で行いましたが、院内各所に「意見箱」を設置しています。お気づきの点がございましたら、ご意見を賜りますようお願いします。「意見箱」でいただいたご意見と回答については、正面玄関入って左側の掲示板に掲示しています。

当院で働く認定看護師をご紹介します!

認定看護師とは?

高い水準の知識・技術を持つ者として日本看護協会から認定された看護師です。認定の条件は、看護師5年以上の実務後、特定の分野で6か月(615時間以上)にわたる教育を受け、認定審査に合格するという厳しいものです。現在は21分野が認定されており、患者さま、ご家族や集団に対する熟練した看護の提供や、指導・相談を行うことを役割としています。

当院の認定看護師

現在は「皮膚・排泄ケア」3名・「感染管理」2名・「慢性心不全看護」2名の認定看護師が働いています。各分野を簡単にご紹介させていただきます。



皮膚・排泄ケア



感染管理



慢性心不全看護

主に、床ずれや足の潰瘍などの創傷、人工肛門、人工膀胱、失禁に伴う問題をお持ちの方々のスキンケアを中心に、外来や病棟で活動を行っています。特に近年、糖尿病性潰瘍や下肢の血流障害による潰瘍の方が増加していて、当院では医師、リハビリ、栄養科、薬剤科などと連携し、入院中や退院後の生活が快適に過ごせるように努めています。お困りの方は、私たちに気軽にご相談ください。

当院では感染管理認定看護師2名が協力し、医療関連感染を未然に防止することと、ひとたび発生した感染症が拡大しないことを目的に感染管理を行っています。また、感染対策チームの一員として他職種のメンバーと専門知識を集結して感染対策を取り組んでいます。例年インフルエンザ流行シーズンには、患者さまやご家族、ご面会の方々にも、マスク着用や面会方法などについてご協力をいただいて感謝しています。

高齢化社会および生活習慣病の増加により、心疾患は今後さらに増加することが予測されます。心疾患有する人はもちろん、高血圧や高脂血症、糖尿病、肥満、喫煙などの基礎疾患や増悪因子を有する場合、慢性心不全に至る可能性は高まります。そのような患者さまに対し、病気と上手く付き合って生活していくように支援していくことが重要です。急性増悪を繰り返す病的特徴を踏まえ、患者さま自身の病状の自己管理能力向上を目指して教育、指導および障害のある身体機能の回復を目指し、増悪の回避、予防を行っています。

秋からは新たに「手術看護」と「緩和ケア」それぞれ1名ずつ、認定教育課程に参加しています。
地域の皆さんに喜んでいただける看護をこれからも目指していきます!

冷え性改善 冬はこれで乗り越えよう!!

冬は体の冷える季節。主な冷え性の原因として…

- ①温めすぎ(こたつ・カーペット・エアコンの使いすぎ)
- ②体の歪み
- ③運動不足
- ④ストレスなどがあげられます。食べ物や運動で、改善をしていきましょう!



- ★体を温める運動★
- おじぎをする
 - お腹をねじる
 - 足の指でグー・チョキ・パー
 - 足の指の間を揉む
 - かかととつま先を交互に上げる

★例ええばどんな食材?★

穀類・豆類

もち米、小豆、黒豆

野菜・きのこ類

かぶ、かぼちゃ、アスパラ、小松菜、さつまいも、大葉、玉ねぎ、にら、にんじん、ねぎ、ピーマン、山芋、らっきょ、れんこん、ごぼう

果物・ナッツ類

オレンジ、栗、くるみ、胡麻、サクランボ、銀杏、桃、ライチ、梅干

肉・魚介類・卵

鶏肉、鶏・豚レバー、羊肉、鹿肉、穴子、鰯、海老、鰯、鮭、明太子、ちりめんじゃこ

香辛料・調味料

生姜、にんにく、胡椒、山椒、酒、天然塩、唐辛子、豆板醤、わさび、味噌、醤油

油脂・その他

大豆油、ひまわり油、紅茶、赤ワイン、紹興酒、日本酒、ココナッツミルク

食材を選ぶポイント

- ①旬の食材
- ②色の濃い物
- ③硬く水分の少ない物